

- 2面 第II期ホームレスの自立支援等に関する推進計画(素案)
- 3面 難病医療費助成・心身障害者福祉手当対象疾病の拡大
- 4・5面 区の財政状況
- 6面 新型インフルエンザワクチン予防接種/費用助成対象者の拡大・集団的予防接種の実施
- 8面 年末年始の資源・ごみの収集 区役所の休業



しんじゅくコール  
☎ (3209) 9999

(午前8時~午後10時、12/29~1/3は休みます)

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)  
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111  
ホームページ ☎ http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/  
携帯電話版 ☎ http://www.city.shinjuku.tokyo.jp/mobile/index\_mobile.html



携帯電話用  
二次元コード

### 1月30日 新宿コスミックセンターで開催

# 身近な政府・新宿区の自治を考えるつどい

## 新宿区自治基本条例検討連絡会議 中間報告会にご参加を



研究会委員長、川崎市自治基本条例検討委員会会長、板橋区地方自治制度研究会会長などを歴任。

●講師紹介  
**辻山幸宣** (検討連絡会議座長・地方自治総合研究所所長)  
中央大学法学部教授などを経て、現在、中央大学大学院客員教授・八王子市地方自治研究センター理事長。これまでに、川崎市地方分権推進研究会委員長、川崎市自治基本条例検討委員会会長、板橋区地方自治制度研究会

●内容  
▼講演 「自治基本条例制定の意義」「他自治体における自治基本条例の取り組み状況と新宿区の特徴」(辻山幸宣・写真左)  
▼これまでの検討経過と今後のスケジュールの報告  
【会場・申込み】 当日直接、新宿コスミックセンター(大久保3-1-2)へ。先着150名。  
【問合せ】 企画政策課(本庁舎3階) ☎(5273)3502へ。

これまでの取り組みを紹介し、区民の皆さんと意見を交換します。  
【日時】 1月30日(土)午後1時30分~4時  
【問合せ】 企画政策課(本庁舎3階) ☎(5273)3502、区議会事務局議事係(本庁舎5階) ☎(5273)4026へ。

### 中間報告会

自治基本条例は、新宿区の地域特性を踏まえ、区における自治の基本理念や基本原則を明らかにするものです。「新宿区」という単位で物事を考え、決める場合に、誰がどのような役割を担い、どのような方法で決めていくかなどを定める「自治の基本ルール」です。  
今年2月から、区民・区議会・区(行政)の三者の代表で構成する「(仮称)新宿区自治基本条例検討連絡会議(検討連絡会議・下図)」を設置し、条例の検討を進めています。  
今回は、1月に開催する中間報告会とこれまでの検討状況について、お知らせします。中間報告会に、ぜひ、ご参加ください。  
【問合せ】 企画政策課(本庁舎3階) ☎(5273)3502、区議会事務局議事係(本庁舎5階) ☎(5273)4026へ。

### 検討項目の構成案

- 前文
- 条例の基本的考え方 (★)  
条例の目的、基本理念、用語の定義、位置付け
- 区民の権利と責務 (★)
- 行政の役割と責務
- 行政の運営
- 税財政
- 議会の役割と責務
- 区民参加の仕組み (★)  
区民参加の保障、地域自治、協働
- 住民投票 (★)
- 地域の基盤
- 情報の共有
- 進行管理委員会
- 改正手続き
- 国・他自治体との関係
- その他  
外国人、暮らし方の多様性、安全・安心、環境、平和・人権、教育、子ども

※上記は12月2日現在の検討連絡会議の検討項目の構成案で、今後変更する可能性があります。

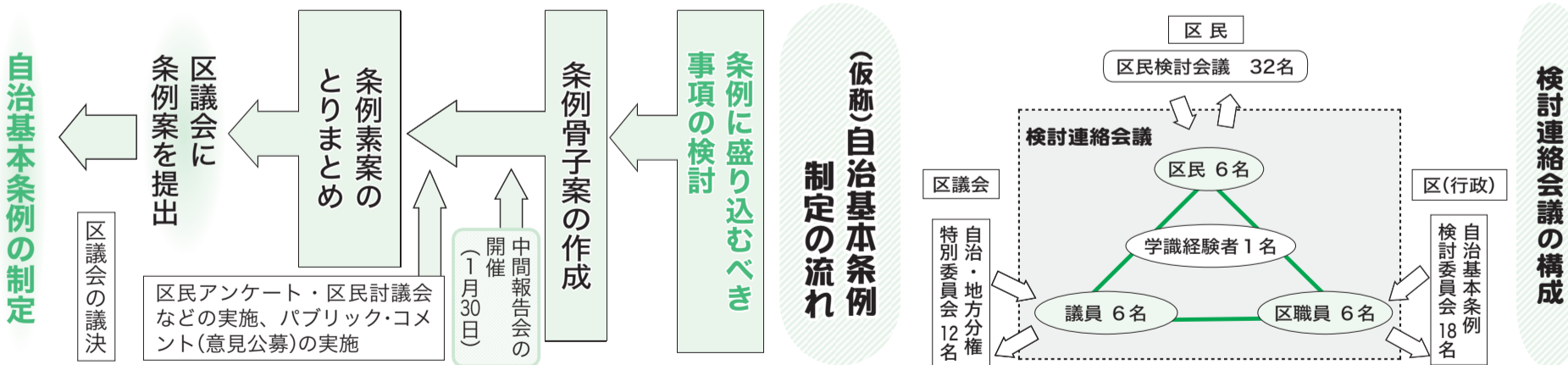
★は検討連絡会議で議論している項目、そのほかは今後議論を予定している項目です。

### 検討連絡会議での検討内容

検討連絡会議では、条例にどのような事項を盛り込むか、区民・区議会・区がそれぞれ案を持ち寄り、検討していきます。条例骨子案の作成に向けて、検討連絡会議では左記の検討項目の構成案に基づき、現在、活発に議論しています。



検討連絡会議の様子



### 新宿 まち・人・しごと

師走も半ば、この季節、山の寒い町で育つた私は、家族と暖かい部屋で暮らせることに幸せを感じます。アンデルセン童話「マッチ売りの少女」は、子ども心に悲しく納得できませんでした。少女が幸せそうに微笑んで亡くなったのは救いですが、困窮の中、寒さで死んでしまったことに、もっと幸せに生きられる社会をと思ったものです。▼高度成長を経て成熟社会といわれる今、経済環境の厳しい中、貧困の広がりが懸念されています。区における生活保護世帯も増加しています。失業率の動向や、大学生など若者の就職内定率も本当に気がかりです。▼非正規労働者が3人に1人といわれ、正規・非正規雇用の年収格差や雇用保険・健康保険などの社会保障のセーフティネットも大きな問題を抱えています。国は雇用問題を重視し、区もハローワークと連携して、離職し住居を失った方を対象に住宅手当緊急特別措置事業を担っています。▼新宿のまちは単身者が多く、30歳代をはじめ各年代の未婚率も高く、出生率が低くなっています。結婚するかしないかは個人の問題ですが、経済的安定が大きな影響を与えていることも事実です。▼貧困の広がりは社会を弱体化させます。子どもや若者が希望を持てる社会を目指し、誰もが雇用や生活の保障、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)などに思いを広げ、良い年を迎えることができるよう願っています。

区長 **中山 弘子** (なかやま ひろこ)